



やまがたビジョン

y a m a g a t a v i s i o n

令和4年9月

はじめに

全国各地で人口減少・少子高齢化が加速化する中、ここ山形町も例外ではなく、むしろ他地域を上回るペースで進むと予想されます。こうした状況から令和2年度地域まちづくり委員会^{※1}において、精力的に地域振興に取り組んでいく必要があるという認識のもと、山形町の将来像となる「やまがたビジョン」の策定に取り組むこととなりました。

令和3年3月、住民意識を明らかにするため、全住民・学校・団体等を対象に住民アンケート調査を実施しました。その結果、50.2%の住民が「山形町に住み続けたい」「町外に出ても、いずれ山形に戻りたい」と思っている一方、33.9%が「体調によっては町外に移るのもやむをえない」と考えている結果となりました。また、「山形町に愛着を感じるか」の問いには、「強く感じる」、「まあまあ感じる」という人が77%を占めました。多くの住民が山形町に愛着を持っている一方、実際に住み続けられるか、今後の見通しには不安や危機感を持っていることがわかりました。そして、今後の山形町の維持・発展のために振興に取り組むことについては、「各地区・集落が協力し合い、山形町全体が一致団結して取り組むべきだと思う」、「山形町全体が一致団結することと、各地区・集落独自の活動は同じくらい重要だと思う」という人が約70%を占め、多くの住民が山形町の維持・発展を望み、山形町全体での取り組みが必要であると考えていることがわかりました。

その結果を受けて、令和3年5月、地域まちづくり委員会に各自治会代表者と小・中学校PTA代表者等を加えた「やまがたビジョン」策定委員会を組織しました。委員会では、山形町内要所を巡る現地調査と計7回のワークショップによる意見交換を重ね、山形町の望ましい将来像と、それを実現するために山形町民自らができること、すべきことをまとめた「やまがたビジョン」を策定しました。

※1 地域まちづくり委員会：

山形町における地域振興に関し調査審議するため条例により設置される市長の諮問機関。自治会その他の住民が組織する団体が推薦する者、関係行政機関の役職員、農林水産業団体の役職員、商工業または観光に関する団体の役職員、公募による者により構成される。

目指すべき将来像

「やまがたビジョン」では、「地域を離れた人とも繋がりをもち続けたい」「若者が帰って来やすい地域に」という思いを込めて、目指すべき将来像として

**地域を離れても繋がりのある
若者が帰って来たい 帰って来やすい地域**

というキャッチフレーズを定めました。

そして、この将来像を実現するために次の4つの目標をかかげます。

目標1 「住民が元気で活気ある住みやすい地域」

目標2 「地元に住んで、地元で稼げる地域」

目標3 「支え合い、助け合い、安全・安心に暮らせる地域」

目標4 「豊かで魅力ある自然を守り、生かせる地域」



目標1 「住民が元気で活気ある住みやすい地域」

一人ひとりが出番と役割を持ち、好きなことを楽しめたり、いきいきと活動できることで心豊かに過ごせる地域を目指します。

自分たちのことは自分たちでやれる地域を目指します。

山形町民の絆を大切に、住民同士の交流を促進するとともに、地域を離れた人とも繋がりのある環境・地域づくりを目指します。

目標を実現するために地域で取り組むこと

若者が楽しめる地域づくり

- ①若者が楽しんで参加できるイベントを開催する。
- ②若者がやりたい活動をサポートする体制をつくる。

未来予想図づくり

イラスト等使って多くの人にわかりやすい山形町の未来予想図をつくる。

地域の協力体制づくり

かつての「よいっこ(ゆいっこ)」^{※1}を現代風に復活させ、地域の協力体制を再構築する。

空き家活用

空き家バンクの周知・活用など、家を借りたい人と空き家のマッチングを行う。



情報発信事業

- ①山形町出身者に向けた情報発信を行う。
- ②SNS^{※2}等を活用し、広く町外にも山形町の魅力を発信する。
- ③テーマ別に情報発信を行う。

【参考】地域だけでは実行が難しい取り組み

・山村留学等

※1 よいっこ(ゆいっこ)：隣近所で支え合う仕組み。昔は農作業や茅葺き屋根の葺き替えなどで協力体制があった。
※2 SNS：インターネット上で人と人とが繋がり、交流や情報の発信・共有・収集等ができるサービス。

目標2 「地元に住んで、地元で稼げる地域」

子育て世代など、誰もが働きやすい環境づくり・仕事づくりを目指します。

移住定住、U・Iターンの促進に取り組み、帰ってきたくなる、帰ってきやすい地域を目指します。

地域産業の活性化、地域資源の有効活用によって、特産品や新たなサービスを生み出すことを目指します。

目標を実現するために地域で取り組むこと

グリーンツーリズム の推進

民泊の受け入れ先を増やすとともに、町内で実施しているグリーンツーリズム・野外活動のPRを行う。

ぐれっと！やまがた 街道祭

地域のPRとともに、ちょっとしたお小遣い稼ぎの機会とする。

廃校の有効活用

特産品の生産・販売や体験活動など、地域の魅力発信の拠点として活用する。



薪売り、松売り (盆松)

身近なものを商売にする。



ちょこっと仕事 センターの設置

職安に出さないようなちょっとした仕事を集めて、仕事をしたい人とマッチングする。

【参考】地域だけでは実行が難しい取り組み

- ・高齢者福祉施設の充実
- ・少子化対策・子育て支援に供する施設の充実
- ・農業公社をつくる
- ・企業誘致を行う
- ・人口増（移住）に向けた対策

目標3 「支え合い、助け合い、安全・安心に暮らせる地域」

いざという時に助け合い、安全・安心に暮らせる地域を目指します。

子育て世代を応援し、親子がのびのび暮らせる地域を目指します。

困りごとや心配ごとを一人で抱え込まず、人と人との関わり合い、支え合う優しい地域を目指します。

目標を実現するために地域で取り組むこと

支え合い（見守り） の体制づくり

隣近所で声を掛け合ったり、日常的な見回りを行ったり、地域ごとに助け合う体制をつくる。



防災の体制づくり

消防団や自主防災組織を中心として、住民全員が災害時に協力できる体制をつくる。



草刈り作業

草刈りを地域で行い、地域の自主財源を確保する。

スノーバスターズ

スノーバスターズを復活させ、冬でも安心して暮らせる地域を目指す。



子育てしやすい 環境づくり

3歳未満対象の保育施設や小中学生対象の学童保育を開設し、親子が安心して暮らせる地域を目指す。

支援が必要な人 のマップづくり

支援が必要な人を、支援ができる人で共有できる仕組みをつくる。

【参考】地域だけでは実行が難しい取り組み

- ・住民の日常生活における移動手段を確保するための交通対策

目標4 「豊かで魅力ある自然を守り、生かせる地域」

..... 自然環境の保全に努め、自然との共生を目指します。

..... 自然を生かし、自然を楽しめる環境づくりを目指します。

..... 自然の中で子どもたちの豊かな心の育む地域を目指します。

..... 自然や歴史と伝統を学び、住民が誇りを持つことができる地域を目指します。

目標を実現するために取り組むこと

周遊バスの運用

名所巡りや郷土食を味わえるバスを運行する。

塩の道の整備

塩の道を歩きやすく整備する。

火入れの復活

山菜（わらび等）の生育促進や害虫対策のため火入れをする。

植樹活動

教育旅行等の記念としてつつじや桜を植樹してもらい、思い出を作るとともに、つつじや桜を増やしていく。

内間木洞の 観光振興

内間木洞を観光洞として見学できるようにする。



溪流の景観活用

旧道を活用し、溪流の景観が出来るスポットなどを整備する。

花の迷路づくり

休耕田を活用し、花の迷路をつくる。

鳥獣害対策と活用

鳥獣害への対策を行うとともに、ジビエ等への活用に取り組む。



やまがたビジョンの推進体制について

「やまがたビジョン」を実現するためには、これを推進していく体制が必要です。そこには、地域の課題を共有して解決方法を検討・決定する「協議機能」、そして地域の課題解決に向けた取り組み（事業）を実行する「実践機能」の2つが求められます。

策定委員会では、現在の山形町の各組織の現状を踏まえて、次のような推進体制を採用することにしました。



協 議

地域まちづくり委員会
+
自治会・学校 PTA の代表等



実 践

実践できる団体
(町内および町外の
団体・組織・有志など)

事務局

当面

久慈市



将来

担える団体

やまがたビジョン策定委員会（地域まちづくり委員会）名簿

令和4年9月現在 敬称略

氏名	所属
二橋 修	小国自治会(令和3年度)
古屋敷 重勝	小国自治会(令和4年度～)
岩脇 愛	関自治会
鹿糠 信夫	霜畑自治会
小渡 正利	川井自治会
下道 徹男	来内自治会
上村 信志	荷軽部自治会(令和3年度)
苅間澤 由広	荷軽部自治会(令和4年度～)
小向 邦男	日野沢自治会(令和3年度)
蒲野 正明	日野沢自治会(令和4年度～)
尾無 優子	厚浦自治会(令和3年度)
高松 久子	厚浦自治会(令和4年度～)
下館 美由紀	戸呂町自治会(令和3年度)
下館 志子	戸呂町自治会(令和4年度～)
中村 美雪	岡堀自治会
茅森 悦子	新田自治会
小深田 福利	向屋敷自治会
中村 昇	繫自治会
瀬川 秀明	県北広域振興局
火石 正年	久慈地方森林組合
畑村 高宏	新岩手農業協同組合
中野 康宏	久慈商工会議所
向川 智之	久慈市観光物産協会
小渡 香緒利	山形小学校 PTA
大上 武	来内小学校 PTA(令和3年度)
上平 千尋	来内小学校 PTA(令和4年度～)
木地谷 淳	山形中学校 PTA
橋本 實	やまがた地域振興協議会
清水 拓哉	やまがた文化・スポーツ NPO
下館 満吉	公募

アドバイザー …………… 特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター 広田純一
事務局 …………… 山形総合支所ふるさと振興課・総合政策部地域づくり振興課
特定非営利活動法人やませデザイン会議

資料

資料1 山形町民アンケート

資料2 山形中学校やまがたビジョン

資料 1 山形町民アンケート

やまがたビジョン策定に向けた取り組みの一環として、今年の3月から4月にかけて、町内のすべての中学生、団体・事業者等を対象としてアンケートを実施しました。

対象	配布数	配布方法	回答数
①住民	1788部(894世帯)	区長配布 / 1世帯あたり2部配布	875部
②中学生	43部	山形中学校へ依頼	42部
③団体・事業者等	99部	各団体・事業者へ依頼	52部

※この他に、郷土芸能・文化団体及び自治会を対象として実施したアンケートも行いましたが、対象者が少数で匿名性の担保が難しいため公表は行わず、ビジョンの策定及び今後の取り組みの参考として活用させていただきます。

①住民アンケート・結果

1. 性別	男	女	無回答	合計						
	366	405	104	875						
	42%	46%	12%	100%						
2. 年齢	高校生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	無回答	合計
	18	16	15	36	59	141	254	308	28	875
	2%	2%	2%	4%	7%	16%	29%	35%	3%	100%
3. 居住年数	1年未満	5年未満	10年未満	20年未満	20年以上	無回答	合計			
	2	12	14	62	745	40	875			
	0.2%	1%	2%	7%	85%	5%	100%			
4. 世帯構成	単身	夫婦(2人暮らし)	親子(2人以上)	三世代以上	無回答	合計				
	100	251	358	122	44	875				
	11%	29%	41%	14%	5%	100%				
5. 地区	関	霜畑	来内	荷軽部	日野沢	岡堀	厚浦			
	117	58	63	128	59	27	25			
	13%	7%	7%	15%	7%	3%	3%			
	戸呂町	新田	向屋敷	繫	小国	川井	無回答	合計		
	27	8	17	31	76	239	0	875		
	3%	1%	2%	4%	9%	27%	0%	100%		

6. これからも山形町に住み続けたいと思うか(回答者875人)

この町に住み続けたい	439人	50.2%
進学や就職などで町外に出たい。その先は未定	36人	4.1%
進学や就職などで町外に出てもいずれ山形町に戻りたい	11人	1.3%
年をとったら、町外に移りたい	42人	4.8%
年をとっても町内に住みたいが、体調によっては町外に移るのもやむを得ない	297人	33.9%
その他	27人	3.1%
無回答	23人	2.6%

7. 将来、あなたの子どもや知り合いになどに山形町に住んでほしいと思うか
(回答者 875 人)

住んでもらいたい	356 人	40.7%
町外に住んでもらいたい	86 人	9.8%
どちらともいえない	391 人	44.7%
その他	22 人	2.5%
無回答	20 人	2.3%

8. 山形町に愛着を感じるか (回答者 875 人)

強く感じる	269 人	30.7%
まあまあ感じる	406 人	46.4%
あまり感じない	113 人	12.9%
全く感じない	20 人	2.3%
分からない	47 人	5.4%
無回答	20 人	2.3%

9. 山形町を「ふるさと」だと思うか
(回答者 875 人)

強く思う	412 人	47.1%
まあまあ思う	331 人	37.8%
あまり思わない	71 人	8.1%
全く思わない	14 人	1.6%
分からない	32 人	3.7%
無回答	15 人	1.7%

10. 今後の山形町の見通しについてどのように思うか
(回答者 875 人)

今よりは発展していくと思う	17 人	1.9%
なんとか現状維持でいけると思う	54 人	6.2%
人口減少と少子高齢化がさらに進み、厳しくなると思う	745 人	85.1%
わからない	45 人	5.1%
無回答	14 人	1.6%

11. 今後の山形町の維持・発展のため、山形町全体で振興に取り組むことについてどのように考えるか (回答者 875 人)

各地区・集落が協力し合い、山形町全体が一致団結して取り組むべきだと思う	324 人	37.0%
山形町全体が一致団結することと、各地区・集落独自の活動は同じくらい重要だと思う	281 人	32.1%
各地区・集落の取組みを尊重すべきだと思う	133 人	15.2%
山形町全体での取組みは必要ないと思う	66 人	7.5%
その他	36 人	4.1%
無回答	35 人	4.0%

12. 山形町の地域振興のための活動に参加したいと思うか (回答者 875 人)

強く思う	95 人	10.9%
まあまあ思う	362 人	41.4%
あまり思わない	177 人	20.2%
全く思わない	55 人	6.3%
分からない	139 人	15.9%
無回答	47 人	5.4%

13. 山形町に住み続けるには、どのような環境が大切だと思うか。(3つ選択 回答者 875 人)

年をとっても安心して暮らせる環境	595 人	68%
車がなくても安心して暮らせる環境	358 人	41%
仕事を安定してできる環境	343 人	39%
子どもを安心して育てられる環境	262 人	30%
健康に生活できる環境	253 人	29%
お金があまりかからない環境	204 人	23%
地域の人同士が支え合う	170 人	19%
仕事でお金をたくさん稼げる環境	88 人	10%
町外からたくさんの人が訪れる環境	82 人	9%
いろんな仲間とスポーツや趣味を楽しむ環境	52 人	6%
生涯勉強できる環境	12 人	1%
その他	4 人	0.5%

14. 山形町にこれからも住み続けるにあたり、「重要だと思うこと」「満足していること」
(「重要だと思う」%－「満足している」%)

高齢者の見守り・支援	58.4%
通院や買物	58.3%
健康づくり	54.3%
有害鳥獣駆除	54.2%
農林業の振興	51.1%
子どもたちのふるさと教育	49.6%
通勤や通学	48.0%
上下水道の整備	43.9%
交通安全、防犯・防火活動	42.2%
自然環境の保全	40.8%
郷土の歴史文化の学習・保存	40.8%
観光振興	40.2%
ご近所付き合いや助け合い	37.1%
年中行事や郷土料理の継承	33.7%
環境美化、道水路の清掃・草刈り	33.4%
集いの場・交流の機会づくり	32.8%
祭りや伝統芸能・行事の継承	32.5%
住民の文化活動・スポーツ活動	31.7%
地域活動の情報発信	31.3%
各種団体やグループの活動推進や支援	29.7%
青年会や婦人会等における交流	25.3%
都市農村交流	25.3%
屋内遊戯施設など娯楽施設の整備	24.7%

②中学生アンケート・結果

1. 性別	男	女	無回答	合計	2. 年齢	1年生	2年生	3年生	無回答	合計
	23	18	1	42		17	10	15	0	42

3. 世帯構成	自分+親兄弟		自分+親兄弟+祖父母		その他	無回答	合計
	20		19		3	0	42

4. 地区	関	霜畑	来内	荷軽部	戸呂町	小国	川井	無回答	合計
	2	7	7	4	3	1	17	1	42

5. これからも山形町に住み続けたいと思うか (回答者 42人)

この町に住み続けたい	11人	26.2%
進学や就職などで町外に出たい。その先は未定	14人	33.3%
進学や就職などで町外に出てもいずれ山形町に戻りたい	11人	26.2%
先のことはまだわからない	4人	9.5%
その他	2人	4.8%
無回答	0	0.0%

6. 将来、あなたの子どもや知り合いになどに山形町に住んでほしいと思うか (回答者 42人)

住んでもらいたい	20人	47.6%
町外に住んでもらいたい	6人	14.3%
どちらともいえない	15人	35.7%
その他	1人	2.4%
無回答	0人	0.0%

7. 山形町に愛着を感じるか (回答者 42人)

強く感じる	19人	45.2%
まあまあ感じる	16人	38.1%
あまり感じない	2人	4.8%
全く感じない	1人	2.4%
分からない	4人	9.5%
無回答	0	0.0%

8. 山形町を「ふるさと」だと思うか (回答者 42人)

強く思う	32人	76.2%
まあまあ思う	6人	14.3%
あまり思わない	0人	0.0%
全く思わない	1人	2.4%
分からない	3人	7.1%
無回答	0	0.0%

9. 今後の山形町の見通しについてどのように思うか (回答者 42人)

今よりは発展していく	7人	16.7%
なんとか現状維持でいける	8人	19.0%
人口減少と少子高齢化がさらに進み、厳しくなる	23人	54.8%
わからない	4人	9.5%
無回答	0人	0.0%

10. 今後の山形町の維持・発展のため、山形町全体で振興に取り組むことについてどのように考えるか（回答者 42 人）

各地区・集落が協力し合い、山形町全体が一致団結して取り組むべき	26 人	61.9%
山形町全体が一致団結することと、各地区・集落独自の活動は同じくらい重要	11 人	26.2%
各地区・集落の取組みを尊重すべき	4 人	9.5%
山形町全体での取組みは必要ない	0 人	0.0%
その他	1 人	2.4%
無回答	0 人	0.0%

11. 山形町の地域振興のための活動に参加したいと思うか（回答者 42 人）

強く思う	25 人	59.5%
まあまあ思う	14 人	33.3%
あまり思わない	2 人	4.8%
全く思わない	1 人	2.4%
分からない	0 人	0.0%
無回答	0 人	0.0%

12. 山形町に住み続けるには、どのような環境が大切だと思うか。（3つ選択 回答者 42 人）

子どもを安心して育てられる環境	23 人	55%
年をとっても安心して暮らせる環境	18 人	43%
健康に生活できる環境	16 人	38%
地域の人同士が支え合う	15 人	36%
仕事を安定してできる環境	11 人	26%
仕事でお金をたくさん稼げる環境	10 人	24%
車がなくても安心して暮らせる環境	7 人	17%
町外からたくさんの方が訪れる環境	7 人	17%
いろいろな仲間とスポーツや趣味を楽しめる環境	7 人	17%
お金があまりかからない環境	5 人	12%
生涯勉強できる環境	0 人	0%
その他	1 人	2%

14. 山形町にこれからも住み続けるにあたり、あなたが「重要だと思うこと」「満足していること」（「重要だと思う」%－「満足している」%）

観光振興	45.2%	集いの場・交流の機会づくり	28.6%
通院や買物	42.9%	郷土の歴史文化の学習・保存	26.2%
通勤や通学	42.9%	子どもたちのふるさと教育	23.8%
健康づくり	40.5%	上下水道の整備	23.8%
高齢者の見守り・支援	40.5%	住民の文化活動・スポーツ活動	21.4%
ご近所付き合いや助け合い	38.1%	祭りや伝統芸能・行事の継承	21.4%
屋内遊戯施設など娯楽施設の整備	35.7%	交通安全、防犯・防火活動	21.4%
各種団体やグループの活動推進や支援	33.3%	都市農村交流	21.4%
地域活動の情報発信	31.0%	農林業の振興	16.7%
年中行事や郷土料理の継承	31.0%	青年会や婦人会等における交流	16.7%
自然環境の保全	31.0%	有害鳥獣駆除	14.3%
環境美化、道水路の清掃・草刈り	28.6%		

③団体・事業者等アンケート・結果

1. あなたの事務所について

民間企業	法人団体	任意団体	NPO	その他	無回答	合計
19	6	5	2	17	3	52

2. 従業員数

なし	3人以下	5人以下	10人以下	20人以下	50人以下	50人以上	無回答	合計
9	13	13	3	6	6	1	1	52

3. 設立年

5年以内	10年以内	20年以内	30年以内	50年以内	51年以上	無回答	合計
5	3	12	7	4	16	5	52

4. 本社

山形町	久慈市	岩手県北	それ以外	無回答	合計
45	3	1	1	2	52

5. 業種 (複数可)

農業	林業	建設業	製造業	光水熱業	運輸業	卸売業	小売業	不動産業
10	13	5	3	1	1	2	12	1
宿泊業	飲食	福祉	複合サービス	その他サービス	公務	分類不能	合計	
1	4	1	1	3	1	3	52	

6. これからも山形町で事業を続けたいと思うか (回答数 52)

続けたいし、続けられる	16社	30.8%
続けたいが、続けられるかどうかはわからない	28社	53.8%
続けるかどうか迷いもある	2社	3.8%
続けるのは難しいと感じている	6社	11.5%
その他	0社	0.0%
無回答	0社	0.0%

「続けられる」以外を選んだ回答者へ

6-1. その理由は何か (回答数 36)

ニーズ・需要が見込めない	11社
後継者がいない	9社
人手が確保できない	6社
事業資金が確保できない	5社
建物・設備の老朽化	2社
原料・資材が調達できない	1社
その他	2社

6-2. 事業所が山形町にあることが関係しているか (回答数 36)

大に関係している	10社
少しは関係している	6社
どちらとも言えない	7社
あまり関係ない	12社
無回答	1社

7. 今後の山形町の見通しについて
どのように思うか（回答数 52）

今よりは発展していく	0社	0.0%
なんとか現状維持でいける	2社	3.8%
人口減少と少子高齢化がさらに進み、厳しくなる	31社	59.6%
人口減少と少子高齢化がさらに進み、地域の存在が危うくなる	17社	32.7%
わからない	2社	3.8%
無回答	0社	0.0%

8. 今後の山形町の維持・発展のため、山形町全体で
振興に取り組むことについてどのように考えるか
(回答数 52)

各事業者が協力し合い、山形町全体が一致団結して取り組むべき	21社	40.4%
山形町全体が一致団結することと、各事業者独自の活動は同じくらい重要	21社	40.4%
各事業者の取り組みを尊重すべき	6社	11.5%
山形町全体での取り組みは必要ない	2社	3.8%
その他	0社	0.0%
無回答	2社	3.8%

9. 山形町の地域振興のための活動に
参加したいと思うか（回答数 52）

強く思う	17社	32.7%
まあまあ思う	28社	53.8%
あまり思わない	1社	1.9%
全く思わない	0社	0.0%
分からない	5社	9.6%
無回答	1社	1.9%

10. 山形町に人が住み続けるには、どのような環境が大切
だと思うか（3つ選択 回答数 52）

仕事を安定してできる環境	31社	20.4%
子どもを安心して育てられる環境	26社	17.1%
年をとっても安心して暮らせる環境	24社	15.8%
健康に生活できる環境	13社	8.6%
町外からたくさんの方が訪れる環境	13社	8.6%
お金があまりかからない環境	12社	7.9%
仕事でお金をたくさん稼げる環境	12社	7.9%
地域の人が支え合う	9社	5.9%
車がなくても安心して暮らせる環境	6社	3.9%
いろんな仲間とスポーツや趣味を楽しめる環境	4社	2.6%
生涯勉強できる環境	1社	0.7%
その他	1社	0.7%

11. 山形町でこれからも事業を続けるにあたり、

会社として「重要だと思うこと」「満足していること」について（「重要だと思う」%－「満足している」%）

人口の維持	79%	都市農村交流・観光振興	54%
農林業の振興	75%	地域とのつながり	48%
子育て環境	71%	環境美化、道水路の清掃・草刈り	38%
山形町自体の宣伝・情報発信	71%	祭りや伝統芸能・行事の継承	38%
従業員の生活の利便性	60%	自然環境・景観	37%
移住定住対策	60%	関連産業の集積	33%
小中学校の維持	58%	バスの便	31%
子供たちのふるさと教育	56%	従業員の住宅確保	25%
道路条件	54%	用水	8%
労働力	54%	土地（用地確保）	0%
通信基盤	54%		

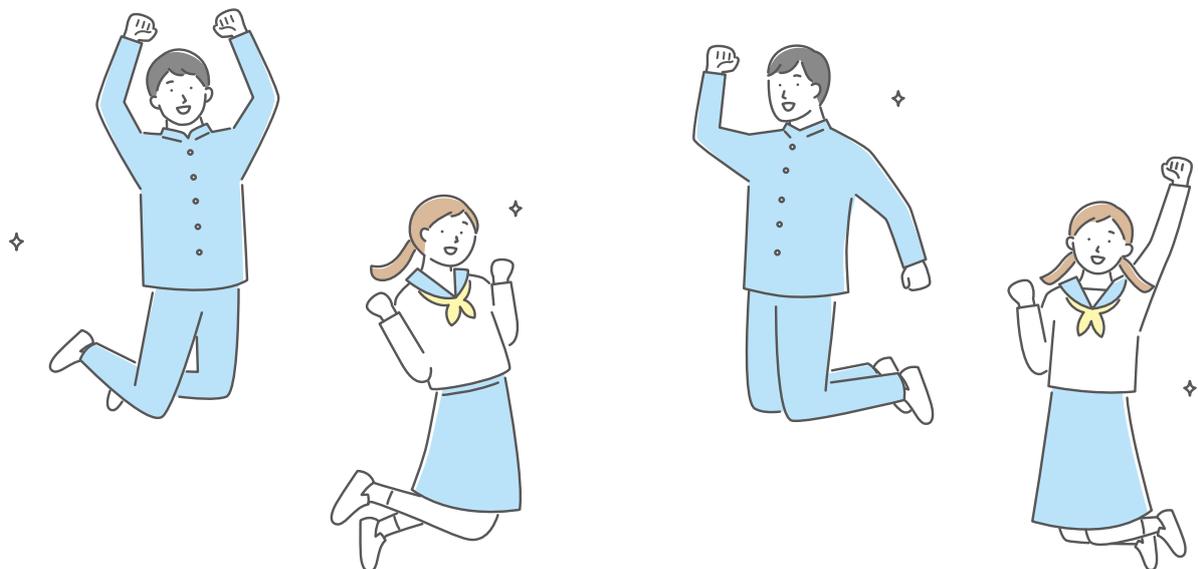
資料2 山形中学校版 やまがたビジョン

山形中学校では、「私たちのふるさと山形」をテーマとして、令和4年度から地域学の学習に取り組んでいます。3年生では、「これからの山形」をテーマにやまがたビジョンについて考え、山形町の魅力や課題、自分たちにできることについてグループごとに話し合い、地域の活性化を目指して事業の企画書の作成に取り組みました。

日付	取り組み内容
第1回 令和4年6月3日	職員説明「やまがたビジョンとは？」「アンケート結果について」 ワークショップ「山形の魅力と課題」 「20年後に、どんな山形になってほしいか？」
第2回 令和4年7月5日	広田純一先生ミニレクチャー「夢を形にするための方法」 ワークショップ「夢を形にするための方法を考えよう！」 「企画書を書いてみよう！」
第3回 令和4年9月2日	企画発表

山形中学校版 やまがたビジョン

夢を形にするために、私たちができること！



何を | 文化交流祭り

いつ | 7～9月、7～9時半

どこで | ガタゴン広場

誰が | 小・中学生、先生、山形町の皆さん、他の地区の方々も

どのように | 伝統芸能⇒戸呂町神楽、霜畑念仏剣舞、関念仏剣舞の披露
盆踊り⇒円を2つ作って、内側から太鼓⇒踊る人の順で並ぶ
特産物⇒ほうれん草、炭、蕎麦などを屋台で販売する
屋台⇒短角牛、まめぶ、田楽

なぜ | 町の活性化につながる
地区の知らなかった魅力を知ることができる
移住する人が増えるきっかけにつながる



ガタゴン広場

感想

- やまがたビジョンを通して、山形の課題やいいところを見つけてどのような活動をすれば、もっと活性化するかを深く考えることができた。
- これからの山形がよくなるようにたくさんの意見を出しながら今の山形の課題点を見つけられたので良かった。この企画したことをやってみたいです。
- 山形の魅力や課題点について改めて考えることができた。実行するためにどのような取り組みだと自分たちで行えるか考えて活動できた。初めて自分たちで5WIHをはじめから作ったのでとても難しく、考えるのでかなり時間をとってしまったので企画を考えている人たちはすごいと感じました。この企画を考えていただいてとてもありがたいです。

チーム
ズンドコ温泉 CLUB
西 颯志
宅石 樹
川向 駿

何を ■ クラフト（手作りのもの）、農産物、木でつくったもの、山形でつくったものを売る

いつ ■ 春か秋、午前～午後にかけて（日中）

どこで ■ おらほーる

誰が ■ 最初は地域の人たちが出店
それ以降は久慈の人やほかの地域の人たちも出店可能



売るものイメージ

なぜ ■ 山形の人同士の交流を深めるため
他の地域からも人が来てほしいから
山形の経済をまわすため
いろいろな地域の特産品を広めるため



おらほーる

感想

- 改めて自分たちの地域にどのような課題があるか、どのように良いところを活かすか、考えられて良かった。やまがたビジョンの授業をしてみて、企画やプロジェクトの作り方、提案の仕方などすごく良い経験になったので、この経験を次の機会に活かしていきたい。自分の地域がやっぱり良いところだなと思えて良かった。
- 活動を通して山形の良い所を再発見できたし、課題についても深く考えることができた。グループごとにこうなってほしいと考えて、それに近づけるための企画を、意見を出して細かいところまで考えることができた。未来の山形は、人口増加は難しいと思うが、他の地域から人が気軽に来て、山形の魅力をもっと沢山の人が知って、山形が発展していくと良いと思う。
- やまがたビジョンの活動を、まだ山形を知らない人に伝えられるようにしたいし、これから役立てたい。

チーム
優里II

大畑 勢那
宅石 朱希
谷地ルミナ

何を | フィールドアスレチック

いつ | 月2回、毎月第一、第三日曜日

どこで | 旧岩手県立久慈高等学校山形校

誰が | 小学校高学年から大人まで参加可能



旧山形校

どのように | 決められたコースでゴールするまでのタイムの速さを競う
より早くゴールした人のタイムで順位が決まる
小学校高学年部門（4～6年生）、中学生部門、高校生部門、
大人部門（18歳～49歳）、シニア部門（50歳～）と部門を分ける
その月に2回行った合計の順位で総合の順位と総合優勝を各部門で決める

なぜ | 山形町には娯楽施設が少ない
山形にはたくさん道路で走っている人がいる→室内施設によって体を鍛えられるようにしたい
走るだけでなく様々な運動に触れてほしい
世代を超えてスポーツを通して交流を深めたい

感想

- 活動を通して、企画すること、色々なものを準備することの大切さを学ぶことができた。その活動の成功には、何をどうしたいという強い気持ちが何より大切なんだと思った。このような活動をこれから盛んにし、山形町を今よりもっともっと盛り上げていければなと思った。
- やまがたビジョンの活動は、山形の現状を見つめ長所、短所を考えるとともに山形や久慈市の未来を考える機会になった。今回は山形校の再利用と、山形ではウォーキングやランニングをしている方々がたくさんいることに観点を当てた。今回の YASUKE のようにもとになるものから取り入れていくことで山形の伝統や文化に沿って新しいものをつくる実感が得られた。これからも生まれ育った山形の伝統や文化を考えていく機会を大切にしていきたい。
- 山形町の地域を生かし、地域の物を使った企画を考えることができた。実現したらとても嬉しい。力自慢の人たちが集まり、競い合いをしているのを考えるだけでワクワクしてしまう。SASUKE ならぬ YASUKE を開催したい。山形町の地域のいい所を生かして何かを行うのはとても良いと思った。もっと山形町の自然を大切にしていきたい。

チーム
脳筋研究会

川村 大愛
下館 大輝
清水川 暖

発行

令和5(2023)年1月

やまがたビジョン策定委員会（地域まちづくり委員会）

問合せ

0194-72-2111（山形総合支所ふるさと振興課）

